

令和3年度 葛尾村立葛尾小学校だより



きずな

令和3年12月20日 NO.32

葛尾小学校長 伊藤 恒明

重点目標 Let's try! 自分の力で レベルアップ!!

<http://www.katsurao.org/site/es>

コミュタン福島に行ってきました！

12月10日(金)、全校生で福島県環境創造センター交流棟に行ってきました。福島県環境創造センター交流棟(愛称:コミュタン福島)は、放射線や環境問題を身近な視点から理解し、環境の回復と創造への意識を深めることができる施設で、放射線や福島県の環境の現状に関する展示のほか、360度全球型シアター、200人収容が可能なホールなどがあります。

今回は、放射線についての、担当の方に丁寧に説明していただきながら、映像や体験による学習ができました。専門的な施設で有意義な学びができたようです。



赤い羽根共同募金を行いました

12月9日(木)、葛尾村社会福祉協議会の方に小・中学校でそれぞれ集めた募金を子どもたちの手から直接お渡ししました。

子どもたちには、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、つながりを絶やさない社会づくりの担い手として、今後も様々な経験を積んで、大きく成長して欲しいと願っています。



校長会の視察から

12月14日(火)15日(水)の両日、全国や福島県校長会の役員の方々と、福島県内の東日本大震災被災地視察に参加してきました。これは、震災の風化防止と風評の払拭を目的として開催されているもので、私は昨年に引き続き2回目の参加となりました。

14日は、福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取組を視察後、Jビレッジにて双葉郡内の小学校の現状や課題を参加された校長先生方に知っていただくための懇談会が行われました。

15日は、震災がなければ存在しなかったふたば未来学園中学校、そして、震災遺構となった請戸小学校、最後に東日本大震災・原子力災害伝承館を訪問しました。震災当時6年生だった方が東日本大震災・原子力災害伝承館の職員となっており、その方に当時の様子を交えながら請戸小学校を案内していただいたことが印象深かったです。



今回の被災地の視察を通して、私自身も様々なことを考え、そして大切なことを再認識するよい機会となりました。双葉郡にある学校として、そしてそこに勤務する教職員として、ここだからこそ大切にすべきことがあるし、やるべきことがある。そう強く感じました。

また、今回も県外から多くの校長先生方が視察に来られたように、本当に多くの方々の応援や支援が今でも継続していることも感じました。そして、原発の廃炉にまだまだ時間を要すること、未だ地元に戻っていない学校があることなどを考えると、まだまだ双葉郡の復興は厳しい状況にあることは間違いありません。葛尾だからこそ大事にすべきこと、やるべきことをしっかりと考えて取り組んでいきたいと思いました。

着任式を行いました！



12月13日(月)、産休に入った草野先生の補充教員として、村上先生が着任しました。

村上先生には、基本的に草野先生が担当していた授業や学校内の仕事をそのまま担当していただくことになります。

転入生や新しい先生を迎え、また新たな気持ちで、皆で楽しく頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。